

次世代を担う学都石川で学ぶ君たちへ——

困難をいかに乗り越えるか

小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトに学ぶ

2010年、旧石川県庁舎が「石川県政記念しいのき迎賓館」としてリニューアルオープンし、その3階に大学コンソーシアム石川が移転しました。この移転を機に、大学間連携を一層促進し、学都石川の魅力を発信するため、平成20年度文部科学省「戦略的大学連携支援事業(戦略GP)」採択プログラムの一環として、公開シンポジウムを開催します。基調講演には、小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャである川口淳一郎氏を講師にお招きし、「はやぶさ」地球帰還までの数多くの困難を、いかに乗り越えてきたのかについて講演していただきます。学都石川で学ぶ学生の皆さん、ぜひ、ご参加ください。

参加学生募集

無料・事前申込制



2010 **9/4** (土) 14:00~16:00
(受付開始13:30)

石川県政記念しいのき迎賓館 セミナールームB

〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1-1
JR金沢駅 東口より路線バスで「広坂バス停」下車(約10分) 徒歩約1分、
または、「香林坊バス停」下車(約10分) 徒歩約5分

※駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

◆プログラム

※プログラムの内容は当日変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

14:00~14:10 **ご挨拶** 大学コンソーシアム石川 会長/金沢大学長 中村信一
石川県知事 谷本正憲

14:10~15:40 **基調講演(90分)**

「次世代を担う学都石川で学ぶ君たちへ」

～困難をいかに乗り越えるか 小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトに学ぶ～



JAXA 小惑星探査機「はやぶさ」
プロジェクトマネージャ

川口淳一郎氏

宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究本部宇宙航行システム研究系教授、研究主幹、月・惑星探査プログラムグループプログラムディレクター、工学博士、東京大学大学院工学系研究科航空宇宙専攻博士課程修了。日本航空学会 技術賞(2004年、2007年)、文部科学大臣賞 技術賞(2007年)など受賞歴多数。小惑星探査機「はやぶさ」ミッションのプロジェクトマネージャを務める。

15:40~16:00 **質疑応答・学生との対話(20分)**

小惑星探査機「はやぶさ」

はやぶさは、2003年5月に宇宙科学研究所(ISAS)が打ち上げた小惑星探査機。打ち上げ後、エンジントラブルなどの相次ぐ困難を乗り越え、イオンエンジンの実証試験を行いながら、2005年9月に小惑星「イトカワ」に到達し、表面からの物質サンプルの採集を試みた後、2010年6月13日、60億キロメートルの旅を終え、地球に帰還した。

イラスト/©池下章裕/MEF/JAXA-ISAS

参加対象者

高校生、高専生、短大生、大学生、
大学院生

定員約**300名** (応募多数の場合は
抽選となります)
[しいのき迎賓館 約100名、サテライト 約200名]

お申し込み締切日
2010年8月18日(水)

お申し込み方法は
裏面をご覧ください。

●シンポジウムに関するお問い合わせ
参加お申し込み

KCS 株式会社 ケイ・シー・エス
TEL.076-262-2611 (代)
(平日10:00~17:00)
〒920-0919 金沢市南町2番1号
(北國新聞会館内)

●一般社団法人 大学コンソーシアム石川に関するお問い合わせ
一般社団法人

UC 大学コンソーシアム石川
URL <http://www.ucon-i.jp/>
〒920-0962 金沢市広坂2丁目1-1 e-mail/info@ucon-i.jp
TEL.076-223-1633 FAX.076-223-1644

大学コンソーシアム石川は、石川県内のすべての高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校)および石川県、県内すべての自治体、12の経済団体・1つの国際機関が連携して、教育交流・情報発信・調査研究等を行い、高等教育の充実・発展および地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的に、平成18年4月1日に設立されました。その後、平成22年7月1日には、一般社団法人 大学コンソーシアム石川として新たなスタートを切りました。